

情報公開内容

- 1 課題名：腎血管筋脂肪腫に対する動脈塞栓術の総、分腎機能に与える影響について

本研究の目的

動脈塞栓術は、腎血管筋脂肪腫に対する低侵襲な治療法として普及している治療法です。動脈塞栓術後の腎機能に関する報告は少なく、特に患側の腎機能について評価がなされた報告はほとんどありません。今回我々は血液検査(血清クレアチニン、eGFR)および腎動態シンチグラフィーを用いて、術前後の総腎、患側腎機能について評価します。

本研究の対象

2017年1月から2024年12月の間で、高知大学医学部附属病院にて腎血管筋脂肪腫に対し腎動脈塞栓術及び血液検査、^{99m}Tc-MAG3という検査薬を用いた腎動態シンチグラフィー検査(腎臓の状態を調べる検査)を受けた患者様

本研究の意義

腎癌に対する凍結療法後の総腎、患側腎の腎機能を正確に把握することにより、術後の合併症の軽減や腎障害の予測が可能となると思われます。

研究の方法

腎血管筋脂肪腫に対する動脈塞栓術前後の腎動態シンチグラフィーを解析し、術前後における患側腎の腎機能の変化を評価します。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者の性別、年齢、採血データ、画像所見(シンチグラフィー、血管造影、CTなど)、臨床情報(既往歴、現病歴、合併症、臨床経過など)です。

[研究期間は倫理委員会承認日～2028年3月31日]
利用又は提供を開始する予定日：2025年2月1日～

個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティの厳重な部屋に保管します。
- (5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部附属病院 放射線診断科

研究責任者(担当者): 教授 山上 卓士

連絡先電話番号：088-880-2367